

指導内容系統表例（社会科・地歴公民科）

領域名 「気候」

		小学校	中学校	高等学校
学習指導要領の内容		<ul style="list-style-type: none"> 我が国の国土の自然などの様子について、地図その他の資料を活用して調べ国土の環境が人々の生活や産業と密接な関連をもっていることを考えるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 自然環境から見た日本の地域的特色 世界的視野から見て、日本は環太平洋造山帯に属し大地の動きが活発であること、温帯の島国、山国で降水量が多く、緑におおわれた国であること、自然災害が発生しやすく防災対策が大切であることといった特色を理解させるとともに、国内では地形、気候などにおいて地域差がみられることを大観させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 世界の地形、気候、植生などから系統地理的にとらえる視点や方法を学習するのに適切な事例をいくつか取り上げ、自然環境を大観させる。
押さえておきたい基本	日本の気候の特色	<p>【沖縄県】</p> <ul style="list-style-type: none"> 1年を通じて気温が高く、冬でも雪が降らない。 海には珊瑚礁が見られ、4月頃から海水浴もできる。 台風がよく通るため、大量の雨が降る。 雨水を蓄える森林の多い高い山が少なく大きな川もないため、しばしば水不足が起こる。 <p>【北海道宗谷地方】</p> <ul style="list-style-type: none"> 2月頃流氷がおしよせ、気温が-20℃より下がることもある。 冬には暴風雪とよばれる強風が吹く。 夏でも気温が低いため、米や野菜作りには適さない土地が広がる。 <p>【国土の気候の特色】</p> <ul style="list-style-type: none"> 桜は沖縄県で1月、北海道で5月頃に咲く。 日本の春は、南から北へと訪れる。 北海道以外では5月から7月にかけて梅雨の時期となり、曇りや雨の日が続く。 夏は、気温や湿度が高いので蒸し暑い。 夏から秋にかけては台風が襲う。 梅雨や台風は飲み水や農業などに欠かせない恵みの雨をもたらすが、洪水や土砂崩れなどの災害を引き起こすこともある。 秋は春とは反対に北から南へと訪れる。 本州の中央に連なる山地と、北西の季節風の影響を受け、日本海側で雪が多く降り、太平洋側で乾いた晴れの日が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本列島の気候は、降水量が多く、四季の変化がはっきりしている。 夏前に、日本列島に前線が停滞し梅雨になる。 梅雨が明けると太平洋からの季節風（モンスーン）が吹き込んで夏になり、蒸し暑い。 夏から秋にかけて台風が来て大雨をもたらす。 冬はシベリアからの季節風が日本海側に雪を降らせる。 本州から九州までの日本列島は温帯 緯度の差が大きく気温・降水量・植生の地域差が大きい。 高緯度の北海道は冷帯の気候で冬にはオホーツク海沿岸に流氷が押し寄せる。 低緯度の琉球・小笠原諸島は亜熱帯の気候が見られ、マングローブが生育する。 夏に雨が多く、冬に乾燥する太平洋側の気候 冬に雪などの降水が多い日本海側の気候 降水量が少なく、夏と冬の気温差の大きい内陸性の気候 夏と冬の気温差の少ない瀬戸内の気候 冬が長い北海道の気候 冬は暖かい南西諸島の気候 	<ul style="list-style-type: none"> 日本はユーラシア大陸東岸に位置し、季節風の影響で四季変化がはっきりしている。 冬には北西の季節風が吹き、寒さが厳しい。 北西季節風は日本海上で水蒸気を吸収し、日本海側に大量の雪を降らせる。山を越えると乾燥し、太平洋側には晴天をもたらす。 春と秋には高気圧と低気圧が交互に通過し、天気が周期的に変化する。 初夏にはオホーツク海気団と小笠原気団との間にできた梅雨前線帯が日本列島付近に停滞し、北海道を除き梅雨となる。 夏には高温多湿な小笠原気団が北上して日本列島をおおい、南よりの季節風が吹いて熱帯なみの蒸し暑さとなる。 初秋には再び前線が停滞しやすくなり秋の長雨が訪れる。 台風が北上して日本列島に接近し、上陸することもある。 夏、北海道から東北地方の太平洋側でやませと呼ばれる冷たく湿った東風が吹き続けると低温と日照不足になり、冷害が発生し農作物にも被害が出る。
基礎的・基本的	人々の生活の影響	<ul style="list-style-type: none"> 気候に合わせた家作りの工夫が行われている。 沖縄県の与那国島では暖かい気候を生かして米作りが1年に2回行われ、多くの農家がさとうきびの栽培をしている。他の島々では野菜や花作りも盛んで、冬の時期に航空機で出荷されている。 夏でも涼しい宗谷地方では、乳牛を育てる酪農が盛ん。 牛乳はパック詰めその他バターや生クリームに加工されている。 与那国島の周りの海は暖流の黒潮の通り道にあたり良い漁場になっている。 宗谷地方は寒流が流れ込む豊かな漁場に恵まれ毛がに、カレイ、昆布など全国でも有数の水あげ量がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 人々の衣食住の様子や農牧業のあり方は気候の影響を大きく受ける。 北海道や東北地方→冷害、沖縄や九州地方→台風等の影響による風水害、地すべり、高潮、日本海側や山岳地方に多い大雪やなだれ など 自然の改変→自然環境への影響 	<ul style="list-style-type: none"> 農産物の生産と流通 世界の農業分布、世界の農業地域区分 生活と文化 衣食住の地域的差異 都市と村落 集落の立地条件 アメリカ合衆国、インド 多様な農業地域 オーストラリア 大規模な農業地域 東南アジア モンスーン気候と人々の生活
知識	世界の気候の特色	<ul style="list-style-type: none"> 外国の都市の気温や降水量を日本の都市と比べてみよう。（シンガポール、カイロ、モスクワ、東京） 	<ul style="list-style-type: none"> 世界の各地域には、熱帯、温帯、冷帯、寒帯、乾燥帯の各気候が見られる。 気候は海洋を流れる暖流と寒流に影響 同緯度地域でも気候は異なり、大陸東岸は西岸に比べて寒い。 内陸の内陸部は寒暖の差が大きく乾燥する。 気候の状態は植生にあらわれる。 熱帯→熱帯雨林気候とサバナ気候、温帯→広葉樹と針葉樹、冷帯→タイガと呼ばれる針葉樹の森林が広がる冷帯気候、寒帯→コケ類がみられるツンドラ気候と氷雪気候、乾燥帯→ステップと呼ばれる丈の短い草の広がるステップ気候（牧畜や遊牧）と砂漠気候 三つの温帯（雨は主に冬に降り夏は乾燥する地中海性気候、偏西風の影響を受ける西岸海洋性気候、季節風の影響を受け四季の変化のはっきりした温帯湿潤気候） 	<ul style="list-style-type: none"> 世界の気候区分 ケッペンの気候区分 高温多雨の熱帯（A） Af・Am, Aw気候 水の少ない乾燥帯（B） BW, BS気候 地域的・季節的变化に富む温帯（C） Cs, Cw, Cfa, Cfb気候 冬が長い亜寒帯（冷帯）（D） Df, Dw気候 ツンドラと氷雪の寒帯（E） ET, EF気候
充実させたい言語活動例		<ul style="list-style-type: none"> 日本の南と北とでは気候にどのような特色が見られるのか、また気候と人々の生活や産業との関連についてまとめ、発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> 諸資料を基に、世界の気候の特色と比較し、日本の気候の特色についてまとめ、発表する。 国内では、気候において地域差が見られることを諸資料を基に読み取るとともに、なぜ、そうした気候の違いがみられるのか、その理由についてまとめ、発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ケッペンの気候区分等の諸資料を基に、世界の気候の特色についてまとめ、発表する。 諸資料を基に、気候が人々の生活等へ及ぼす影響について発表する。
自ら考え判断する力		<ul style="list-style-type: none"> 我が国は南と北とでは気候に大きな違いがあり、人々の暮らし方にも違いが見られるといったことについて多面的に考察することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 世界的視野から見た日本の気候の特色について多面的・多角的に考察することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 世界の気候の特色について、気温と降水量の分布や地球規模でみた海流に焦点をあて、多面的・多角的に考察できる。
資料を活用し表現する力		<ul style="list-style-type: none"> 我が国の南と北の気候の特色に関する各種の基礎的資料を活用して調べ、気候の特色や人々の暮らし方について違いが見られるといったことを分かりやすく表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 世界の気候の特色や日本の気候の特色などに関する様々な資料を収集し、適切に選択・活用して調べ、世界的視野から見た日本の気候の特色について分かりやすく表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 世界や日本の気候の特色に関する様々な資料を収集し、適切に選択・活用して調べ、大気の大循環やモンスーンの特色、ケッペンの気候区分や気候景観の特色等について分かりやすく表現することができる。